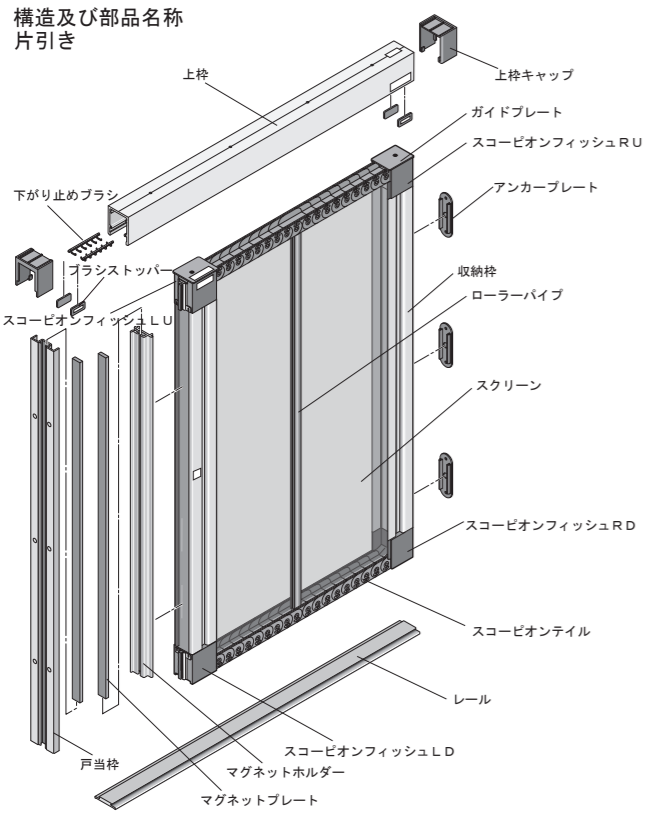


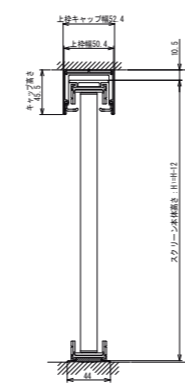
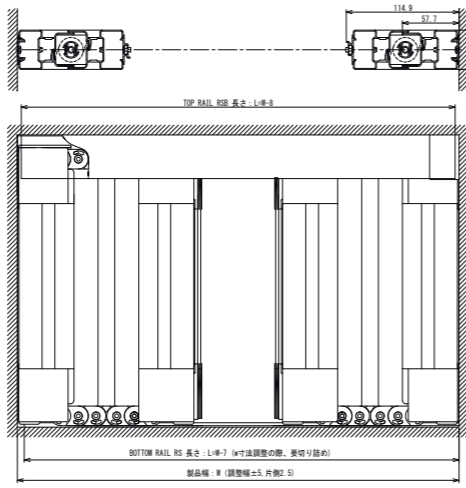
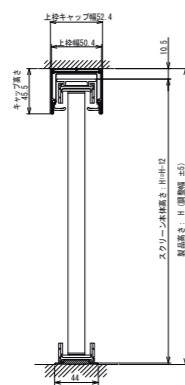
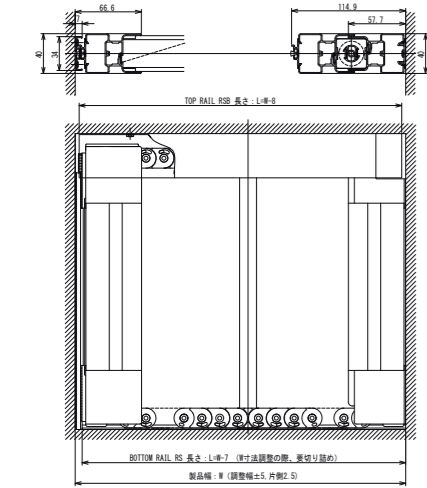
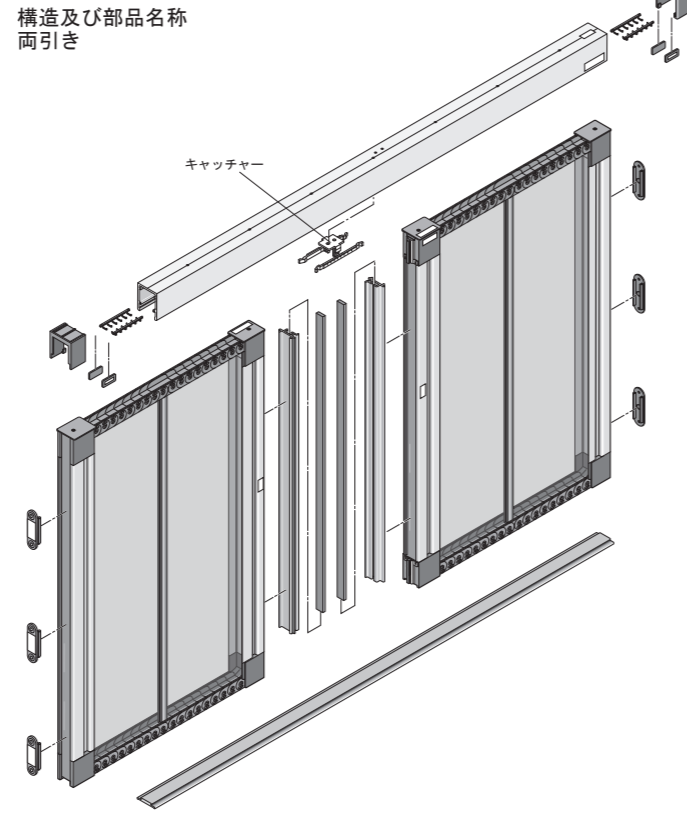
# スムーズライド (マグネット仕様) 取扱説明書

この度は、スムーズライドをお求めいただきまして、誠にありがとうございました。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。必ずこの説明書は  
大切に保管してください。

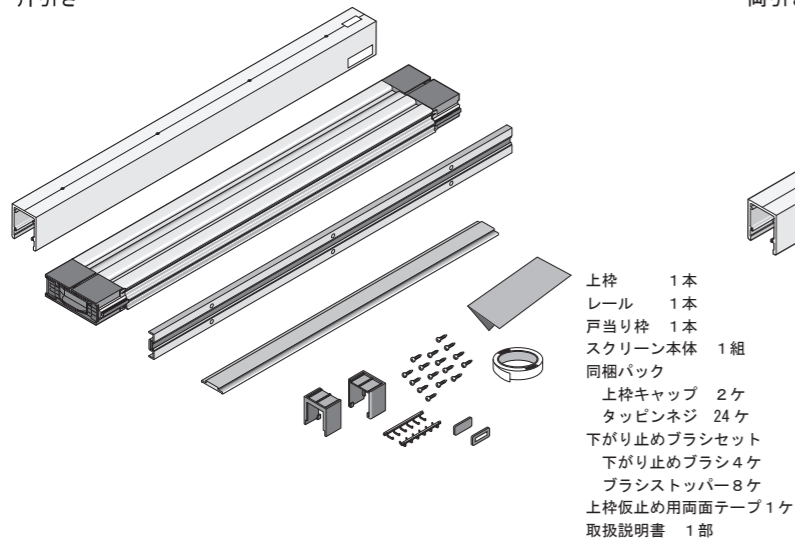
## 構造及び部品名称 片引き



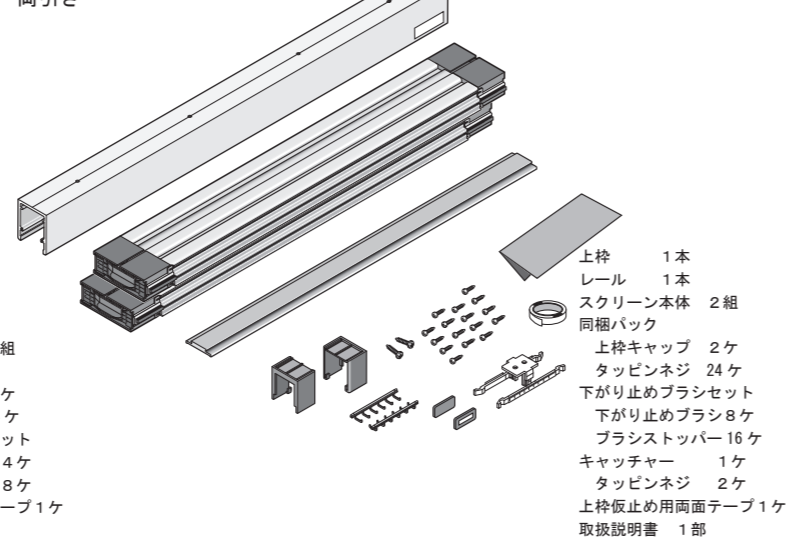
## 構造及び部品名称 両引き



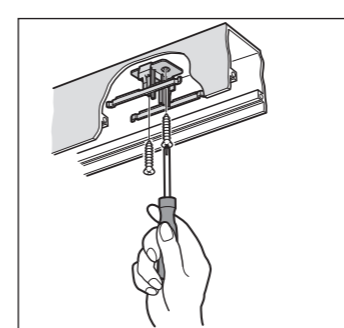
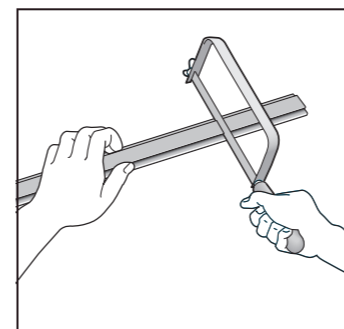
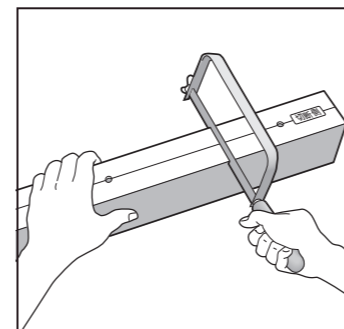
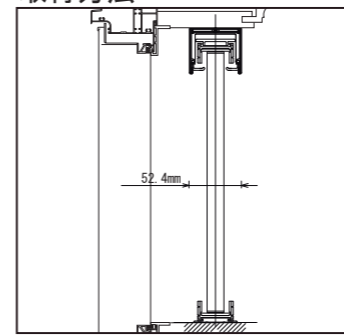
## 梱包内容 片引き



## 梱包内容 両引き



## 取付方法



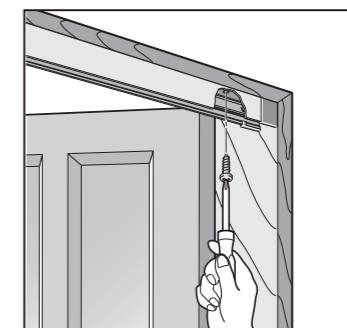
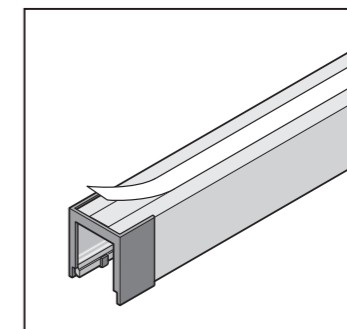
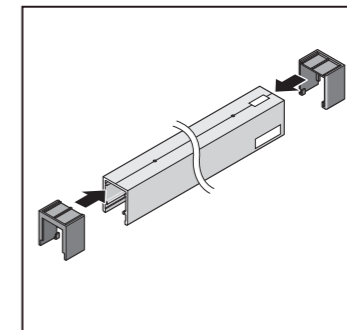
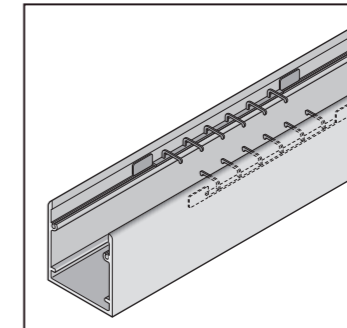
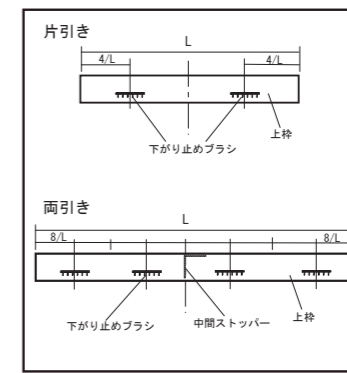
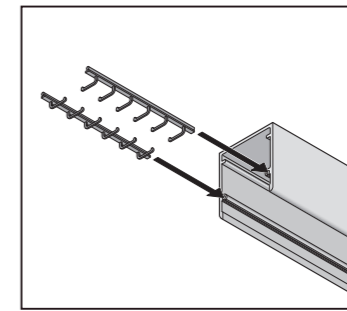
1. 取付位置の再確認  
網戸の開閉に支障のないように取付位置を決めます。  
①取付枠及び床に段差がなく、幅 52.4mm 以上の取付幅がある場所。  
②取り付けた製品にドア用把手、クローザ、クレセントが干渉しないこと。  
③開口部の向かい合う辺がそれぞれ平行で四隅が直角であること。

2. 取付部の清掃  
製品を正確に取り付けるために、取り付け場所、及び床に付着している油汚れ、ほこり、水、砂、泥をよく落とし、乾いた布で拭き取ります。

3. 上枠の切断  
取付幅に合わせて上枠を切断します。  
切断寸法：取付幅 W-8mm  
注) 上枠の切断する側には、シールが貼付されています。上枠が変形しないように切断してください。変形すると操作性に影響がでます。

4. レールの切断  
取付幅に合わせてレールを切断します。  
切断寸法：取付幅 W-7mm  
注) 切り詰めすぎないようにしてください。操作性に影響がでます。

- 両引きの場合  
注) 上枠を切断した場合、上枠の中心にキャッチャーを合わせて印をつけ、φ 4.5mm の下穴をあけます。  
①5~7の要領で上枠を取り付け後、上枠の下からキャッチャーをはめ込みタッピンネジで固定します。



5. 下がり止めブラシのセット  
下がり止めブラシを上枠のホールに挿入します。

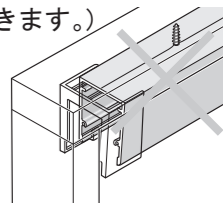
- 下がり止めブラシのセット位置  
左図を参照に上枠の両側のホールに挿入し下がり止めブラシの位置を決めます。

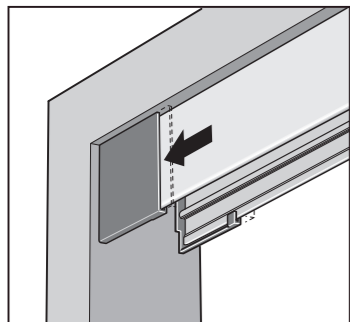
- 下がり止めブラシの固定  
ブラシストッパーの剥離紙をはがし、上枠のホールにブラシストッパーを差し込み、上枠の内側に貼付けます。各下がり止めブラシの両側に貼付け固定します。

6. 上枠キャップのセット  
上枠キャップを、上枠の両側に奥まで差し込みます。

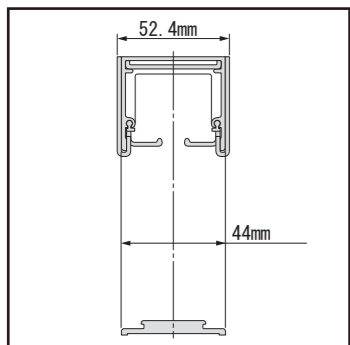
7. 上枠の取付  
①上枠に仮止め用両面テープを貼付し、両面テープの剥離紙をはがします。上枠キャップが奥まで差し込まれていることを確認し、取付位置の中央に上枠を合わせて左右の隙間が均等になるように天井面に仮止めします。  
注) 上枠は傾いたり、斜めに取り付けしないでください。開閉に支障をきたします。

- ②上枠をタッピンネジで固定します。  
注) 上枠が変形するまでタッピンネジを締めないでください。操作性に影響がでます。  
(裏面に続きます。)



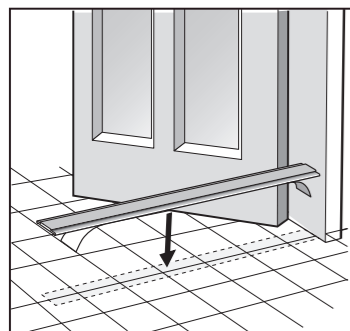


両端のキャップを隙間がなくなるまで押しつけます。

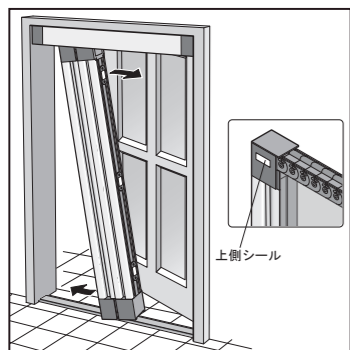


### 8. レールの取付

- ①スクリーン本体を取り付ける収納側と戸当り側を決めます。
- ②左図のように上枠の真下にくるようにレールを接着する位置に印を付けます。  
注) 上枠とレールの幅は同寸法です。センターラインが一致するように取り付けます。センターラインがずれますと開閉に支障をきたします。

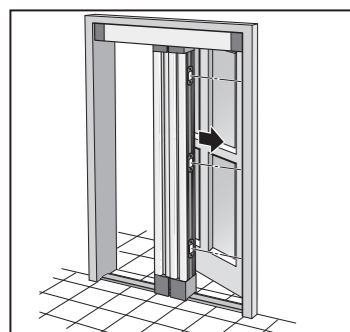


レールの両面テープの剥離紙を剥がし、印に沿って強く押えて接着させます。収納側に寄せて取り付けます。この時戸当り側には隙間があきます。  
注) やり直しをすると両面テープの接着力が低下しますので予め印をした位置に接着してください。また、接着効果が正しく発揮されるためには接着後 24 時間の時間経過が必要です。

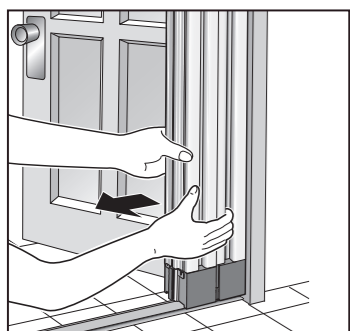


### 9. アンカープレートの仮止め

- 注) 取付面がクロス仕上げの場合は仮止め両面テープがつきにくいので9-B. クロス仕上げの場合を参考にして取り付けます。
- ①スクリーン本体の結束テープをはずします。
  - ②製品の上下を確認します。スコーピオンフィッシュLUに上側シールが貼付されている方が上になります。
  - ③収納枠裏側に組み付けてあるアンカープレートの両面テープの剥離紙をはがします。
  - ④スクリーン本体を斜めにして上枠とレールの間に入れます。

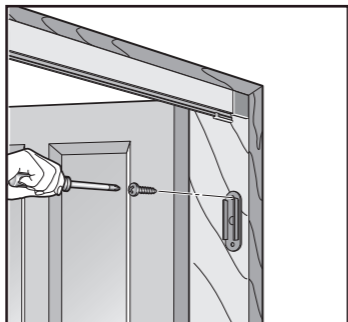


- ⑤スクリーン本体の下側をレールに接触させながら両面テープ接着面を取付枠側に強く押し付け接着させます。  
注) スクリーン本体がレールから浮かないように注意してください。  
取り付けが全て終了するまでは製品を開閉させないでください。故障の原因となります。



### 10. アンカープレートの固定

- ①スクリーン本体の収納枠に両手をかけ、戸当り枠方向に引っ張るとアンカープレートから製品がはずれます。この時、下部から順にはずすと簡単です。  
注) スクリーン本体が倒れないように注意して取り外してください。

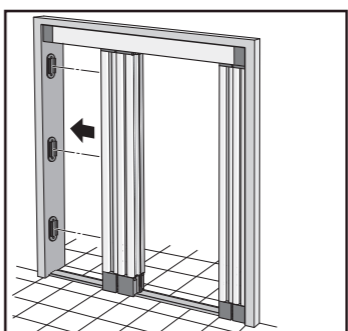


- ②収納枠についていたアンカープレートは両面テープにより取付枠に仮止めされますのでタッピンネジで固定します。  
注) ネジを強く締め過ぎるとアンカープレートが破損します。  
電気ドライバーは使用しないでください。アンカープレートがスクリーン本体と一緒にはずれてきた場合は9-Bを参考にし取り付けてください。



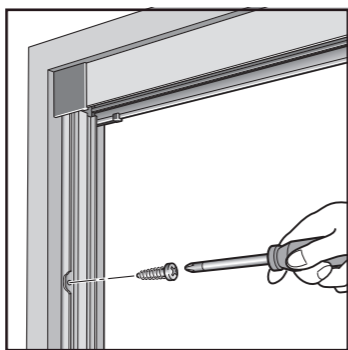
### 11. 製品本体の取付

- アンカープレートの仮止めと同じ要領で製品が浮かないように注意しながら収納枠をアンカープレートの突起に合わせ押し付けるとはまって固定されます。



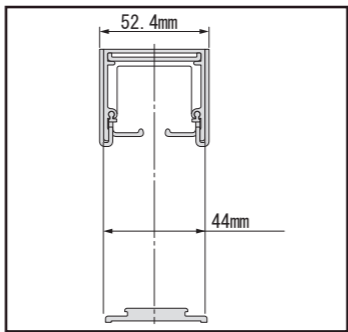
### 両引きの場合

- ①もう一方の本体も同じ方法で取り付けます。



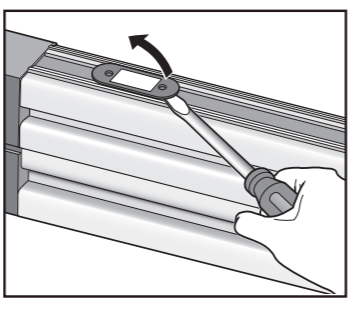
### 12. マグネット付き戸当枠の取付

- 上枠と戸当枠のセンターを合せタッピンネジで固定します。  
注) 戸当枠の上下は上側シールで確認できます。

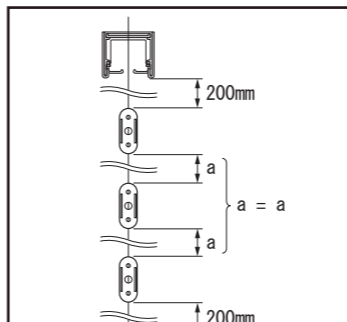


### 9-Bクロス仕上げの場合

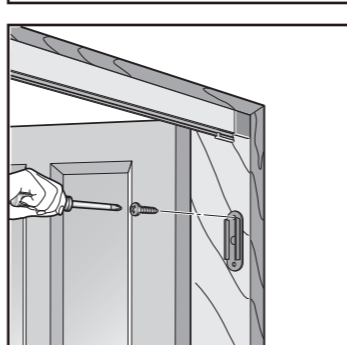
- ①収納側に上枠とレールのセンターを結んだ線を引きます。



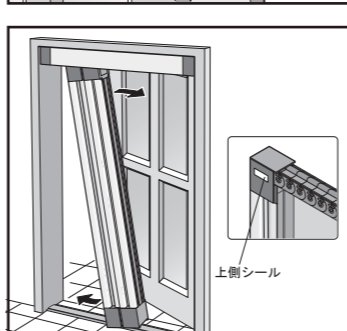
- ②アンカープレートをスクリーン本体から全てはずします。



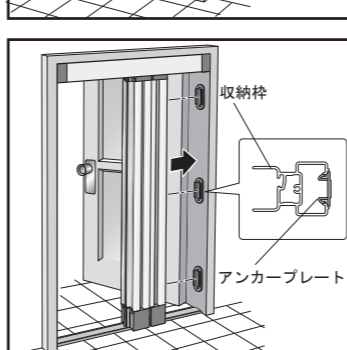
- ③9-B-①で引いた線上に、上枠とレール各々 200mm 離れた箇所にアンカープレートの取り付け位置の印をつけます。残りのアンカープレートは等間隔の箇所に印をつけます。



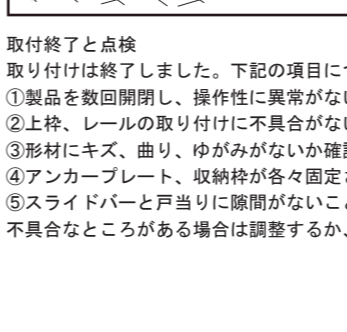
- ④印の位置にアンカープレートの剥離紙をはがして仮止めします。
- ⑤タッピンネジで固定します。  
注) ネジを強く締め過ぎるとアンカープレートが破損します。  
電気ドライバーは使用しないでください。



- ⑥スクリーン本体の結束テープをはずします。
- ⑦製品の上下を確認します。スコーピオンフィッシュLUに上側シールが貼付されている方が上になります。
- ⑧スクリーン本体を斜めにして上枠とレールの間に入れます。



- ⑨スクリーン本体の下側をレールに接触させながら収納枠をアンカープレートの突起に合わせ押し付けるとはまって固定されます。  
注) スクリーン本体がレールから浮かないように注意してください。  
取り付けが全て終了するまでは製品を開閉させないでください。故障の原因となります。(12. に続きます)

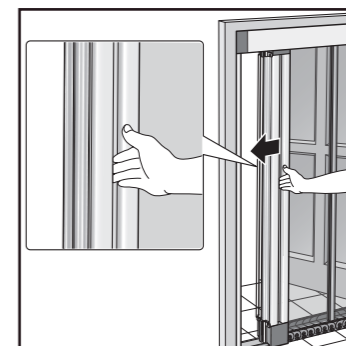


- 取付終了と点検  
取り付けは終了しました。下記の項目について点検を行ってください。
- ①製品を数回開閉し、操作性に異常がないか確認してください。
  - ②上枠、レールの取り付けに不具合がないか確認してください。
  - ③形材にキズ、曲り、ゆがみがないか確認してください。
  - ④アンカープレート、収納枠が各々固定されていることを確認してください。
  - ⑤スライドバーと戸当りに隙間がないことを確認してください。  
不具合などがある場合は調整するか、症状によってはお問い合わせください。

- 安全にお使いいただくために  
警告——警告を守ってください。火災や大けが、死亡の原因となります。
- ① 製品の近くに、温度の高くなる熱器具などを置かないでください。火災の原因となることがあります。
  - ② 製品に寄り掛かったり、押ししたり、重いものをたてかけたりしないでください。スクリーン本体がはずれ、網戸の落下や、転落事故につながります。
  - ③ 風の強い日や、突風の吹く日はスクリーン収納するかドア、窓を閉めてください。倒れたり、落ちたりして破損やけがの原因となることがあります。

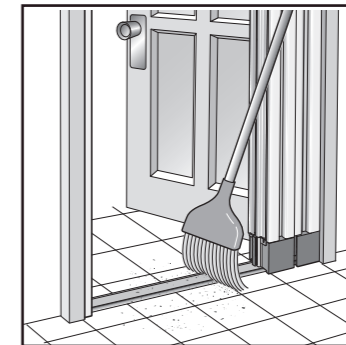
- 注意——注意を守ってください。けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
- ① 製品の分解、改造及び部品の改造は絶対に行わないでください。また、油性の潤滑剤スプレー等を使用しないでください。砂泥等が付着し、故障の原因となります。
  - ② スクリーンの収納時にはスクリーンが確実に収納されたことを確認してください。スクリーンにくせがつき、不具合が発生します。

## 操作方法

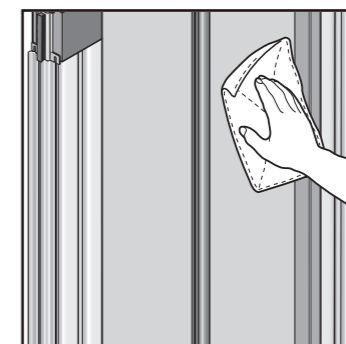


開閉はスライドバー中央部の手かけ部に手を掛けて行ないます。  
戸当りにマグネットが付いているのでスライドバーを押し付けると閉まります。  
注) 極端な位置で操作しようすると操作性が悪くなる場合があります。

## お手入れ方法



1. レールとそのまわりの清掃  
レール及びレールのまわりに小石、砂、ほこり、泥などがたまりまると、部品の磨耗や破損が起き、スムーズな開閉ができなくなります。  
汚れを取り除くためにこまめに清掃してください。



2. スクリーン本体のお手入れ  
スクリーンについた汚れは、布等で軽く拭き取ってください。

## 製品保証について

1. 保証期間  
保証期間——製造日から10年  
製造日については、ガイドプレートに貼付されたシールに印字してあります。
2. 無料修理規定  
取扱説明書の注意事項に従った使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理いたします。
3. 製品保証の免責事項  
①使用上の誤り、また不当な改造による故障及び損傷。  
②お買い上げ後の取付場所の移動、引っ越し、輸送等による故障及び損傷。  
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、ガス害等による故障及び損傷。  
④車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。  
⑤証明書の提示がない場合
4. 補修用性能部品の最低保有期間  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

- アフターサービスについておわかりにならないときは、お問い合わせください。
- 部品についてのお問い合わせは、部品名称をご参照ください。
- 本品の規格及び外観は改良のために、予告なしに変更することがありますので御了承ください。

## 株式会社シアターハウス

〒910-0124 福井県福井市天池町 32-6 TEL 0776-56-0325 FAX 0776-56-2647